

令和6年度秋田県立大館少年自然の家第2回協働会議（11月18日開催）

1 日 時 令和6年11月18日（月）午後2時00分～午後3時05分

2 場 所 秋田県立大館少年自然の家 視聴覚室

3 出席者

【委 員】

高橋善之（会長）、月居祐二、福原良英、石川久晴、田中清美、安部芳範、
鳥潟美奈子

【大館少年自然の家】

佐藤所長、北林副主幹（兼）チームリーダー
成田主任社会教育主事（兼）チームリーダー、阿部社会教育主事

【教育庁生涯学習課】

渡辺主任社会教育主事

4 議事概要

- （1） 開会
- （2） 大館少年自然の家所長あいさつ
- （3） 教育庁生涯学習課長あいさつ（代読）
- （4） 会長あいさつ
- （5） 報告・協議

①報告

- ・ 令和6年度利用者状況について
- ・ 令和6年度主催事業及びその実績について
- ・ 令和7年度の経営構想について

②協議

- ・ 今年度の取組、運営等について
- ・ 次年度の取組、運営等について

- （6） 閉会

5 委員からの主な意見

- ・ 高校生の利用拡大につながるような働き掛けをお願いしたい。
- ・ 森の木の実等の自然素材を活用した幼児向け体験活動は、小学校の生活科につながる良い体験活動である。
- ・ スクールバスの確保ができなかったため利用しなかったが、来年度は確保して利用したい。
- ・ 利用者人数の増減にとらわれず、体験活動の内容を充実させて欲しい。
- ・ モルックが子どもたちに人気があるので、プログラムに入れて活用してはどうか。
- ・ 大館市ではボッチャのまち宣言を行っているので、ボッチャの研修に取り組んで欲しい。
- ・ バリアフリー化については予算等を確保して対応して欲しい。